



憲法でアクション!! ケアに満ちた社会を切り拓く

vol.37

2025.12.18

全日本民医連
職員育成部

<https://kirarikango.com/>

ナース★アクション

千葉県が10月1日からの 今年 引き上げを決断！



“今こそ”都道府県を動かして、予算を取りに行きましょう。
当該自治体に働き掛ける絶好のチャンスです。



♥ 千葉から朗報が届きました ♥

「これから検討」や「未回答」の自治体がほとんどです。千葉県が今年10月からの引き上げを決断し、通知した事はそうした点で大きな意味があります。

今年度から執行させるためには、県連での働きかけがカギとなります。改めて添付しますが、「照会例」「要請ひな形」を参考に、12月中の動きを是非つくっていただければと思います。

看護師増やしてケア最優先の社会へ、今こそ動きましょう。



“ナース★アクションWeb全国交流集会2025冬”を開催しました 多くの県連・法人から165人が参加 — 看護師不足の実態と各地の取り組みを共有 —

県連的な取り組みを3つ、加えて、院内保育と看護職養成校の現場からもご報告いただきました。

◎岐阜からは県内93病院(4割)から寄せられたアンケート調査の結果が示され、9割もの医療機関で看護師不足が常態化し、病床休止などを余儀なくされている実態が共有されました。◎奈良からは、医師・看護師の増員を求める奈良県実行委員会を約20年前に結成し、継続して実施されている看護職員の労働・健康実態調査の報告があり、慢性的疲労や強いストレス、退職意向の高さなど、深刻な状況が明らかにされました。また、この調査が行政の施策に反映されている事が大きな特徴として強調されました。◎福岡からは、駅頭での大規模な宣伝行動が地元メディアに取り上げているとともに、訪問看護ステーションを対象とした調査結果などをもとに看護協会や県当局と懇談していることが報告されました。

また、保育現場からは、子育て世代の看護職員が働き続けるために、保育の役割が重要であることが報告され、看護師養成校からは、学生が抱える不安や学びの現状が共有され、教育と現場が連携し、看護の魅力を伝え続けることの大切さが訴えられました。

参加者からは、看護師不足や待遇改善の問題を現場で抱え込み、社会全体の課題として発信していく必要性が出されました。

★年明け1月27日(火)午後の国会行動について★

100万人署名のとりくみと歩調を合わせて要請項目などを整理しているところです。細かい提起は来年ご案内させていただきます。

これまでのとりくみを確信にして、来年もナースアクションをよろしくお願ひいたします。

